



校報

わきいち

和合協力

気力体力

意志強固

知識探求

創立 明治8(1875)年

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TE 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

<https://edu.city.oga.akita.jp/wakiichi-es/>

初雪の便りが聞かれるようになりました。早いもので、冬休みまであと3週間ほどです。学校では、先月下旬から、子どもたちの困り事の把握や問題行動等の未然防止、子ども理解を深めるため、今年度2回目の教育面談(児童面談)を実施しています。後期後半の学校生活を安心して過ごすことができるよう、子どもの気持ちに寄り添いながら指導していきたいと考えています。また、今月は、今年度2回目の保護者アンケートも実施する予定です。忌憚のないご意見をお寄せください。

さて、少し前から、インフルエンザなどの感染症がちらほら出てきています。感染の広がりを防ぐために、手洗い・うがいの励行や状況に応じたマスクの着用などを呼び掛けているところです。ご家庭でも、登校前・登校後の健康観察や、症状が出てきた際の早めの受診へのご協力をお願いいたします。

感謝の気持ちを伝えました

11月23日の勤労感謝の日に合わせて、いつも給食でお世話になっている栄養教諭や調理員さん(東中職員)、受配担当の小野さん(本校職員)、そして配送の運転手さんへ宛てた、お礼の手紙を届けました。この活動を通して、自分たちの学校生活が様々な人によって支えられていることに改めて気付くことができました。

障害理解教育の出前授業

11月から12月にかけて、障害理解教育の一環として、特別支援学校の教育専門監等による出前授業を行っています。

★目の不自由な人を理解しよう(4年)



アイマスクをして、音や匂い、触った感覚で当てるクイズをしました。なかなか難しいようです。点字の本を見たり触ったりもしました。

★SOSの出し方講座(5年)



男鹿市健康推進課の保健師さんから、SOSの出し方について講話いただきました。

- 一人で苦しい思いを抱え込まないこと
- 世の中には信頼できる大人が必ずいること
- 苦しいときは助けを求めてほしいこと

苦しいとき、困ったときには、信頼できる大人にSOSを出すことの大切さを教わりました。

★耳の不自由な人を理解しよう(3年)

ジェスチャーを工夫して質問しています。手話や筆談のほか、顔を向けてゆっくりはっきり話すと伝わりやすいことが分かりました。



★手足や体の不自由な人を理解しよう(5年)



車いす体験をしました。乗っている人に声を掛けるといいことや、段や坂道を下るときは後ろ向きで押すなど、基本の操作を教わりました。

★1・2・6年は12月15日(金)に実施予定です。

